

取扱説明書

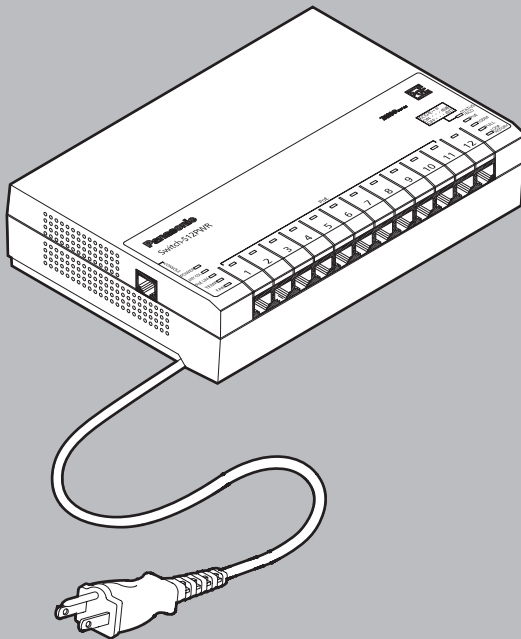
Switch-S12PWR

品番 PN22129K

- お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（2～3 ページ）を必ずお読みください。
- いかなる場合でも、お客様で本体を分解した場合には、保証対象外となります。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 取扱説明書（CLI 編、WEB 編、Menu 編）、保証書、最新ファームウェアおよび SDN アプリケーション（ZEQUO assist Plus）は下記 URL よりダウンロードいただけます。



<https://panasonic.co.jp/ew/pewnw/support/download/index.html>



パナソニックEWネットワークス株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋2丁目12番7号

© Panasonic Electric Works Networks Co., Ltd. 2021

C 0 8 1 1 - 7 1 2 2 1

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



禁止

- 交流 100V 以外では使用しない
火災・感電・故障の原因になります。
- この装置を分解・改造しない
火災・感電・故障の原因になります。
- 開口部やツイストペアポート、コンソールポートから内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしない
火災・感電・故障の原因になります。
- 水のある場所の近く、湿気やほこりの多い場所に設置しない
火災・感電・故障の原因になります。
- 直射日光の当たるところや温度の高いところに設置しない
内部の温度が上がり、火災の原因になります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電・故障の原因になります。
- 雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れない
感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、はさみ込んだり、重いものをのせたり、加熱したりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 振動・衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しない
落下して、けが・故障の原因になります。
- この装置を火に入れない
爆発・火災の原因になります。

⚠ 注意

 禁止	●コンソールポートに別売の PN72001（RJ45-DSub9 ピンコンソールケーブル）以外を接続しない 故障の原因になります。 ●ツイストペアポートに <u>10BASE-T/100BASE-TX</u> 以外の機器を接続しない 故障の原因になります。
 必ず守る	●必ずアース線を接続する 感電・誤動作・故障の原因になります。 ●故障時は電源プラグを抜く 電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因になります。 ●この装置を壁面に取り付ける場合は、本体および接続ケーブルの重みにより落下しないよう確実に取り付け・設置する けが・故障の原因になります。 ●ステータス /ECO モード LED（STATUS/ECO）、もしくは温度センサ LED（TEMP）、ファンセンサ LED（FAN）が橙点滅となった場合は、故障のため電源プラグを抜く 電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因になります。 ●ツイストペアポート、コンソールポートで手などを切らないよう注意の上取り扱い

落雷の影響による故障の対策についての重要なお願い

- ネットワークカメラや無線アクセスポイントなど落雷による影響を受ける可能性がある機器（特に屋外設置機器）を、この装置のツイストペアポートに接続する場合、落雷による過電流・過電圧がツイストペアケーブルを通じてこの装置に伝わり、故障の原因となることがあります。このような機器を接続される場合、この装置のツイストペアポート側に避雷器（SPD）を設置されることを強く推奨いたします。
- 落雷の影響による過電流・過電圧が、電源ポートに接続される電源やアース線からこの装置に伝わり、故障の原因となることがあります。電源やアース線から、落雷による過電流・過電圧流入のおそれがある場合は、この装置の電源ポート側に避雷器（SPD）を設置されることを推奨いたします。
- 保証書に記載の製品保証規定にもありますとおり、この装置の落雷の影響による故障の保証は、保証期間内におきましても有料とさせていただきます。

使用上のご注意

- 内部の点検・診断は販売店にご依頼ください。
- 商用電源は必ずこの装置の近くで、取り扱いやすい場所からお取りください。
- この装置を設置・移動する際は、電源コードをはずしてください。
- この装置を清掃する際は、電源コードをはずしてください。
- 仕様限界をこえると誤動作の原因になりますので、ご注意ください。
- この装置をマグネットではめる場合は、ケーブルの重みなどで装置がずれたり、落下したりしないことをご確認ください。
また、ケーブルを接続するときは、装置本体を押さえて接続してください。
- この装置を高所に取り付ける場合は、ねじなどで壁面に確実に固定してください。
マグネットのみで高所に取り付けた場合は、落下によるけがや製品破損のおそれがあります。
- マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。
記録内容消失のおそれがあります。
- この装置を OA デスクに取り付けた時、取り付けたまま、ずらさないでください。
塗装面によっては傷がつくおそれがあります。
- RJ45 コネクタの金属端子やコネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグの金属端子、帯電したものを近づけたりしないでください。
静電気により故障の原因になります。
- コネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグをカーペットなどの帯電するものの上や近辺に放置しないでください。静電気により故障の原因になります。
- 落下など強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- コンソールポートにコンソールケーブルを接続する際は、事前にこの装置以外の金属製什器などを触って静電気を除去してください。
- 周囲の温度が 0 ～ 40℃ の場所でお使いください。
また、以下場所での保管・使用はしないでください。
(仕様の環境条件下にて保管・使用をしてください)
 - 水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所
 - ほこりの多い場所、静電気障害のおそれのある場所(カーペットの上など)
 - 直射日光が当たる場所
 - 結露するような場所、仕様の環境条件を満たさない高温・低温の場所
 - 振動・衝撃が強い場所上記条件を満足しない場合は、火災・感電・故障・誤動作の原因になり、保証致しかねますのでご注意ください。
- この装置の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり誤動作の原因になります。
- この装置を上下に重ねて置かないでください。また近くで他の装置を使用する際は、上下左右のすき間を必ず 20mm 以上設けてください。

1. お客様の本取扱説明書に従わない操作に起因する損害およびこの装置の故障・誤動作などの要因によって通信の機会を逸したために生じた損害については、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。
2. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
3. 万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡ください。

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

V C C I - A

1 製品概要

Switch-S12PWR は、10/100BASE-TX 対応ポートを 12 ポート有するレイヤ 2 スイッチングハブです。
ポート 1 ～ 11 が IEEE802.3af に対応した PoE 給電機能をサポートしています。

1.1 特 徴

- ポート 1 ～ 11 は IEEE 802.3af 対応の給電が可能です。ポートあたり最大 15.4W の給電が可能で、装置全体では 77W まで給電が可能です。
- 静音ファンコントロール搭載により、給電電力に合わせたファン制御を行いますので、静音効果が大幅に向上します。
- ループ検知・遮断機能により、ループが発生した場合はポートを自動的に遮断し、ループ障害の発生を防ぐことが可能です。
- ループヒストリー機能により、本体 LED および設定画面上よりループの発生履歴を確認でき、ループが発生したポートの特定が可能です。
- MNO シリーズ省電力モードの搭載により、接続状態を自動検知し、電力消費を必要量に抑制します。
- ECO モード LED 機能により、ポート LED を消灯させることで消費電力を抑制することが可能です。
- ポート 1 ～ 12 は、オートネゴシエーションに対応した 10/100BASE-TX ポートです。設定による速度および通信モードの切り替えが可能です。
- すべてのツイストペアポートがストレート / クロスケーブル自動判別機能を搭載しています。端末、ネットワーク機器の区別を意識せず、ストレートケーブルを用いて相互接続できます。
(ポート通信条件を固定に設定した場合、本機能は動作しません。
また、工場出荷時はポート 1 ～ 11 が MDI-X 固定に設定されています。)
- Telnet および SSH で遠隔からスイッチに接続して、設定変更・設定確認が可能です。遠隔からポートごと (ポート 1 ～ 11) に PoE 給電の有効 / 無効の設定が可能です。
- IEEE802.1Q のタグ VLAN をサポートしており、最大 256 個の VLAN が登録可能です。
- スパンニングツリープロトコルをサポートし冗長性のあるシステム構築が可能です。
- IEEE802.1p に対応した QoS 機能をサポートしています。
- IEEE802.1X 対応のユーザ認証機能 (EAP-MD5/TLS/PEAP) をサポートしています。
- EAP フレーム透過機能を搭載していますので、上位の Switch-M24X などの 802.1X 認証スイッチと連携し、コストパフォーマンスのよい認証ネットワークを提供できます。

1 製品概要

1.2 主な仕様

インタフェース	ツイストペアポート 1 ～ 12 RJ45 コネクタ 伝送方式 IEEE802.3 10BASE-T IEEE802.3u 100BASE-TX コンソールポート RJ45 コネクタ RS-232C (ITU-TS V.24)											
スイッチ方式	ストアアンドフォワード方式 フォワーディングレート 10BASE-T 最大 14,880pps/ ポート 100BASE-TX 最大 148,800pps/ ポート MAC アドレステーブル 最大 16K エントリー / ユニット バッファ 1.5M バイト											
リンクアグリ ゲーション	IEEE802.3ad 1 グループは 8 ポートまで構成可能、最大 6 グループまで構成可能											
VLAN	IEEE802.1Q タギング VLAN プロトコル準拠（最大 256 グループ） ポートベース VLAN、インターネットマンション機能											
QoS	IEEE802.1p 対応、4 段階の Queue をサポート											
管理方式	Telnet、Console、SSH v2											
給電機能	ポート 1 ～ 11 で、IEEE802.3af 対応の給電機能をサポート 各ポート最大 15.4W まで給電可能 装置全体で最大 77W まで給電可能											
給電方式	Alternative B（空き線利用 4,5,7,8）											
静音ファン コントロール	動作環境、給電電力に合わせ、ファン回転数を設定											
	<table><tr><td>ファン回転数</td><td>最大 給電電力</td><td>備考</td></tr><tr><td>高速（High）</td><td>77W</td><td>工場出荷時</td></tr><tr><td>低速（Low）</td><td>55W</td><td>給電電力が 55W を超える場合は、 ファンを高速に設定してご使用 ください</td></tr></table>			ファン回転数	最大 給電電力	備考	高速（High）	77W	工場出荷時	低速（Low）	55W	給電電力が 55W を超える場合は、 ファンを高速に設定してご使用 ください
	ファン回転数	最大 給電電力	備考									
	高速（High）	77W	工場出荷時									
低速（Low）	55W	給電電力が 55W を超える場合は、 ファンを高速に設定してご使用 ください										
その他	IEEE802.1w スパニングツリー、ラピッドスパニングツリー IGMP スヌーピング											
電源	AC100V、50/60Hz、3.0A											
入力電圧範囲	AC90 ～ 132V											
消費電力	定常時最大 98.8W（非給電時 8.5W）、最小 6.5W											
動作環境	温度 0 ～ 40℃ 湿度 20 ～ 80%RH（結露なきこと）											
保管環境	温度 -20 ～ 70℃ 湿度 10 ～ 90%RH（結露なきこと）											
外形寸法	50mm（高さ）×220mm（幅）×150mm（奥行き）（突起部は除く）											
質量 { 重量 }	1,100g											
適合規制	一般財団法人 VCCI 協会 クラス A 情報技術装置 VCCI Council Class A											

1.3 付属品

必ずお確かめください。
内容物に不足があった場合は販売店にご連絡ください。

- マグネット（本体に装着） 4 個
- 取付金具 1 個
- 座金付木ねじ 2 本
- 木ねじ 1 本

【別売オプション】コンソールケーブル

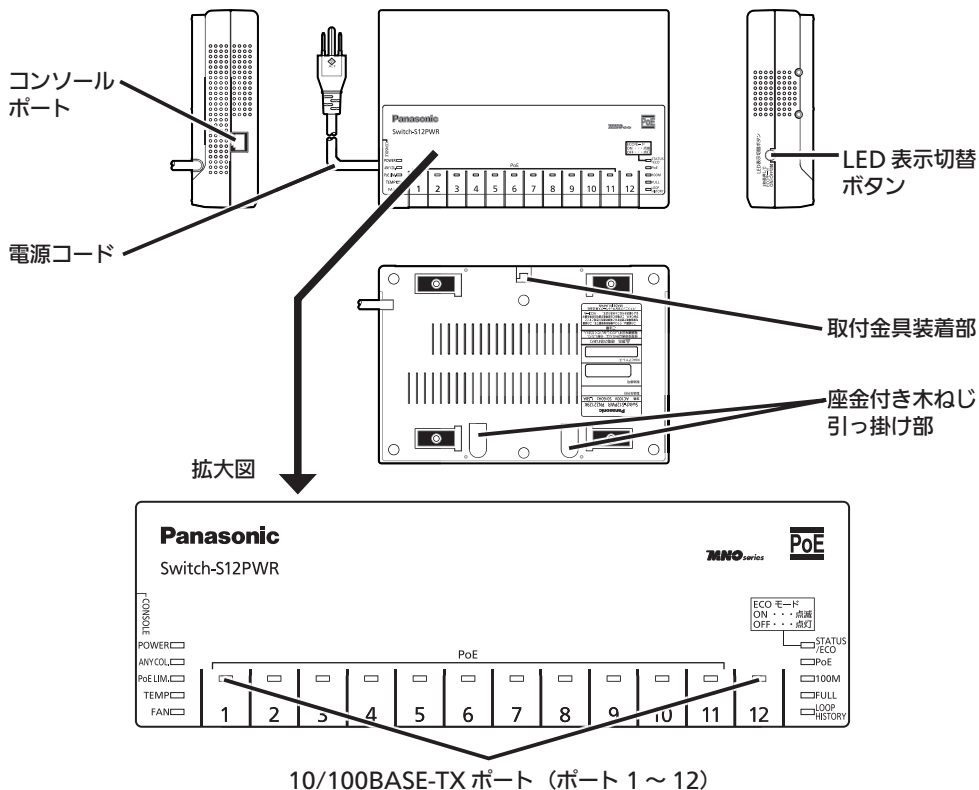
- PN72001 RJ45-DSub9 ピンコンソールケーブル

1.4 基本動作

この装置には電源スイッチはありません。
電源コードのプラグをコンセントに差し込むだけでご使用いただけます。
この装置は、100V（50/60Hz）の AC 電源で動作します。
通電後、LED が全点灯します。
その後、電源 LED（POWER）が緑色に点灯、ステータス /ECO モード LED（STATUS/ECO）が橙色に点灯しハードウェアの自己診断を実行します。
完了すると電源 LED（POWER）、ステータス /ECO モード LED（STATUS/ECO）ともに緑色に点灯し、スイッチングハブとして動作します。
この装置は動作中、各ツイストペアポートに接続されている端末と通信でき次第、各ポート LED が点灯します。
端末装置の電源が投入されていないなど、端末が正常に動作していない場合、ポート LED は消灯します。
また、ECO モードに設定している場合、ポート LED は消灯します。

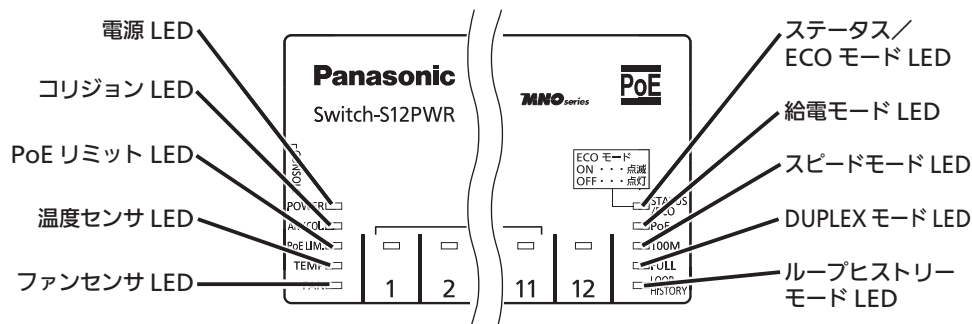
設定方法・管理方法については、当社 HP より取扱説明書（CLI/WEB/Menu）をご参照ください。

2 各部の名称と機能



- 電源コード
電源コンセントに接続します
 - 10/100BASE-TX ポート (ポート 1 ~ 12)
10/100BASE-TX 端末、ハブ、リピータ、ブリッジ、スイッチングハブなどを接続します。
ツイストペアケーブル (CAT5 以上) のケーブル長は 100m 以内に収まるように設置してください。
 - PoE 給電対応 10/100BASE-TX ポート (ポート 1 ~ 11)
IEEE 802.3af 対応の PoE 対応機器へ PoE 給電が可能です。
 - コンソールポート
VT100 互換端末などと接続し、この装置の設定および管理をします。
- | | | | |
|---------|------------|-------------|---------|
| 通信方式 | : RS-232C | エミュレーションモード | : VT100 |
| 通信速度 | : 9,600bps | データ長 | : 8 ビット |
| ストップビット | : 1 ビット | パリティ制御 | : なし |
| フロー制御 | : なし | 通信コネクタ | : RJ45 |

※コンソールケーブルは、別売オプションの RJ45-DSub9 ピンコンソールケーブル (PN72001) をご使用ください。



●電源 LED (POWER)

- 緑点灯 : 電源 ON
- 消灯 : 電源 OFF

●コリジョン LED (ANY/COL.)

- 橙点灯 : 半二重で動作時にいずれかのポートでパケット衝突発生

●PoE リミット LED (PoE LIM.)

- ・静音ファンコントロール 高速 (High) の場合 ※工場出荷時
 - 消灯 : 0 ~ 70W の範囲で給電
 - 緑点灯 : 70 ~ 77W の範囲で給電
 - 橙点滅 : ポート単体の給電電力が上限を超える場合、または、装置全体で給電電力が 77W を超える場合
- ・静音ファンコントロール低速 (Low) の場合
 - 消灯 : 0 ~ 55W の範囲で給電
 - 緑点灯 : 50 ~ 55W の範囲で給電
 - 橙点滅 : ポート単体の給電電力が上限を超える場合、または、装置全体で給電電力が 55W を超える場合

●温度センサ LED (TEMP)

- 緑点灯 : システム正常稼動
- 橙点滅 : 内部温度センサの設定閾値を超えた場合
内部温度センサ設定閾値 73℃ (工場出荷時)

●ファンセンサ LED (FAN)

- 緑点灯 : システム正常稼動
- 橙点滅 : ファン障害

●ステータス / ECO モード LED (STATUS/ECO)

- 緑点灯 : ステータスモードで動作
- 緑点滅 : ECO モードで動作
- 橙点滅 : システム故障

●給電モード LED (PoE)

- 緑点灯 : 給電モードで動作

●スピードモード LED (100M)

- 緑点灯 : スピードモードで動作

●DUPLEX モード LED (FULL)

- 緑点灯 : DUPLEX モードで動作

●ループヒストリーモード LED (LOOP HISTORY)

- 緑点灯 : ループヒストリーモードで動作
- 緑点滅 : ループ発生中、またはループ解消後 3 日以内

2 各部の名称と機能

● LED 表示切替ボタン

装置右側面部にある LED 表示切替ボタンを使用して、接続している端末との接続確認の表示（ステータスモード）、接続している機器への給電状態の表示（給電モード）、100Mbps または 10Mbps の伝送速度の表示（スピードモード）、全二重または半二重の伝送方式表示（DUPLEX モード）、ループ発生した履歴があるポートの表示（ループヒストリーモード）、全てのポート LED を消灯（ECO モード）させることができます。

起動時のモードをベースモードといいます。

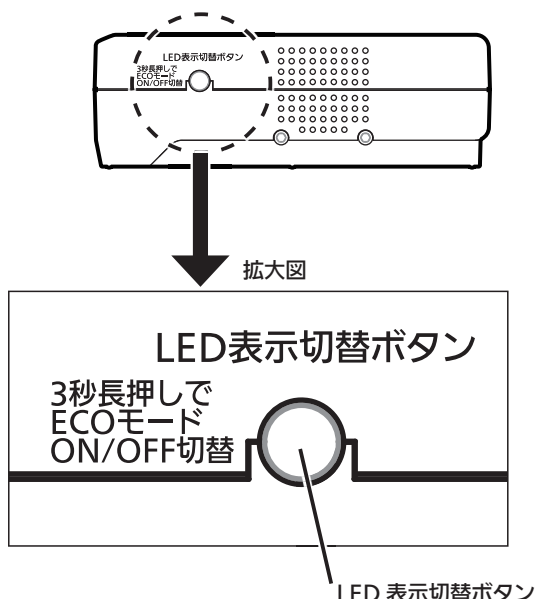
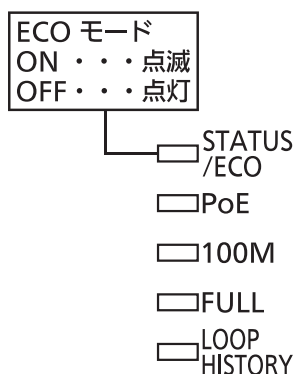
ベースモードはステータスモード（工場出荷時）と ECO モードの 2 種類があります。ベースモードの切替は LED 表示切替ボタンを長押し（3 秒間以上）することにより変更できます。

切替が正常に行われると、STATUS/ECO LED、PoE LED、100M LED、FULL LED の計 4 個の LED が一齐点灯し、消灯後、ベースモードになります。

また、給電モード、スピードモード、DUPLEX モード、ループヒストリーモードのいずれかに変更し、LED 表示切替ボタンを 1 分間使用しなかった場合には、自動的にベースモード（ステータスモードあるいは ECO モード）へ戻ります。

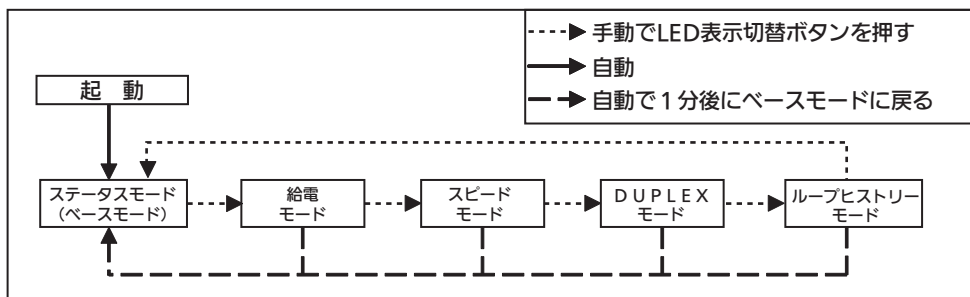
ベースモードは、電源 OFF になっても保持されます。

各モードの LED 表示

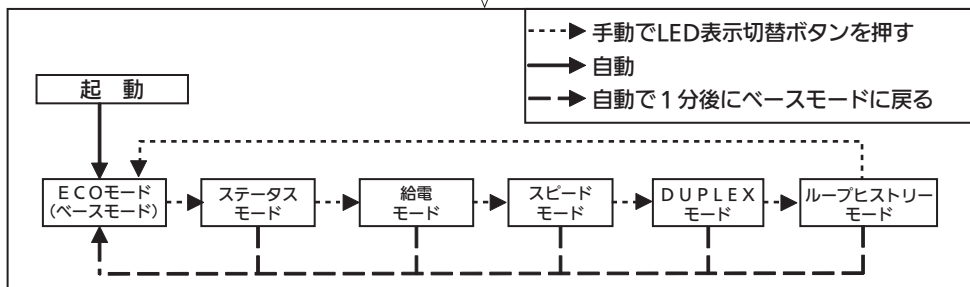


2種類のベースモードと各モードのLEDは以下のように切り替えできます。

ベースモードがステータスモード（工場出荷時）の場合



ベースモードがECOモードの場合



切替（3秒長押し）

ループ検知・遮断機能について

ループが発生したポートのLEDを橙点灯でお知らせします。その時、該当ポートは自動的にポートを遮断（デフォルト設定：60秒間）し、ループを防ぎます。ループが解除されていない場合は、再びポートを遮断しますので、ポート遮断中にループの解除を行ってください。

また、ループが発生中、または過去3日以内にループが発生した場合には、ループヒストリーモードLEDが点滅し、お知らせします。ループ検知・遮断機能の設定（OFF/ON）は、コンソールケーブルを使用した設定切替（詳細は、取扱説明書（CLI/WEB/Menu）を参照）、または、LED表示切替ボタンを10秒以上長押しすることにより切替が可能です（デフォルト設定はON）。切替が正常に行われると、ループヒストリーモードLEDが点灯し切替が完了となります。

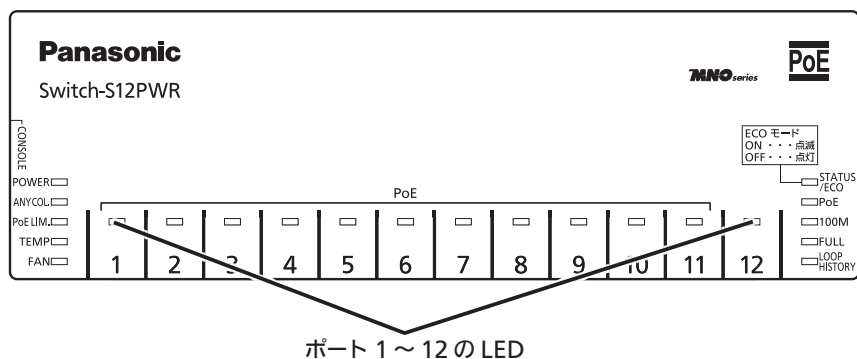
ループヒストリーのLED表示を消去したい場合は、装置の電源をOFF/ONしてください。

なお、装置に保存されたループヒストリーのログは64件まで保持されます。

2 各部の名称と機能

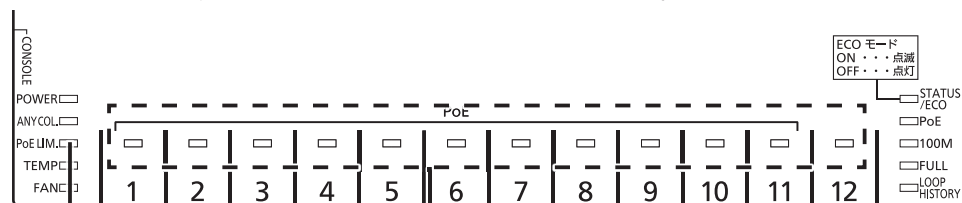
各モードとポート 1 ～ 12 の LED 表示は、以下のように対応します。

表示モード	ポート 1 ～ 12 の LED 動作	ポートの状態
STATUS/ECO	緑点灯	リンクが確立
	緑点滅	データ送受信中
	橙点滅	システム障害発生
	消灯	端末未接続、または ECO モードに設定
PoE	緑点灯	正常に給電（ポート 1 ～ 11 のみ）
	橙点滅	ポート単体のオーバーロード、または 装置全体のオーバーロード （ポート 1 ～ 11 のみ）
	消灯	給電していない、または PoE 受電機器未接続 ※ポート 12 は常に消灯
100M	緑点灯	100Mbps でリンクが確立
	消灯	10Mbps でリンクが確立または端末未接続
FULL	緑点灯	全二重でリンクが確立
	消灯	半二重でリンクが確立または端末未接続
LOOP HISTORY	緑点灯	ループ解消後 3 日以内
	消灯	ループ検知履歴無し
-	橙点灯	ループ検知・遮断機能により遮断中
	消灯	ループ検知・遮断機能による遮断無し



● PoE 給電機能の動作概要

ポート 1 ～ 11 は IEEE802.3af 対応の PoE 給電が可能です。ポートあたり最大 15.4W の給電が可能で、装置全体で最大 77W まで給電が可能です。



ポート 1 ～ 11 (LED 表示を給電モードに設定した場合)

- 緑点灯：正常に給電
- 橙点滅：ポート単体のオーバーロード（要求給電電力が 15.4W 超）
または、装置全体のオーバーロード（要求給電電力を超えた場合）
- 消灯：給電していない、または PoE 受電機器未接続
※ポート 12 は常に消灯

PoE リミット LED (PoE LIM.)

静音ファンコントロール

高速 (High) の場合

※工場出荷時

- 消灯：0 ～ 70W の範囲で給電
- 緑点灯：70 ～ 77W の範囲で給電
- 橙点滅：ポート単体の給電電力が上限を超える場合、または、装置全体で給電電力が 77W を超える場合

低速 (Low) の場合

- 消灯：0 ～ 55W の範囲で給電
- 緑点灯：50 ～ 55W の範囲で給電
- 橙点滅：ポート単体の給電電力が上限を超える場合、または、装置全体で給電電力が 55W を超える場合

● PoE リミット LED が橙点滅（装置全体のオーバーロード）しているときの給電動作

要求給電電力 77W を超えてオーバーロードになった場合、給電を止めたポートは LED 表示を給電モード (PoE) に切り替えることで確認できます。

給電の優先制御はコンソールから設定・変更することが可能です（工場出荷時は、最後に接続されたポートの給電を止めます。既に接続されているポートへの給電は継続されます）。

＊設置・管理方法については、当社 HP より取扱説明書（CLI/WEB/Menu）をご参照ください。

要求給電電力を 77W 以下に抑えるために、橙点滅しているポートのケーブルを抜いてください。

● ポート単体でオーバーロードしているときの給電動作

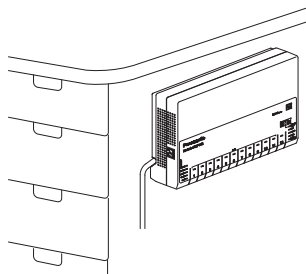
ポート単体で 15.4W を超える給電を要求されたときはオーバーロードとなり、給電を止めます。給電を止めたポートは LED 表示を給電モード (PoE) に切り替えることで確認できます。橙点滅しているポートのケーブルを抜いてください。

ご注意：・ PoE 受電機器によっては、通常使用時と最大消費電力時で消費電力が大幅に異なる場合がありますので、最大給電電力を超えないよう構成してください。

・ 静音ファンコントロールを低速 (Low) に設定している場合は、77W の記載を「55W」に読み替えてください。

3 設置・設定

3.1 OA デスクへの設置



本体に装着されているマグネットを使用して、スチール製の OA デスクの側面などに直接取り付けてください。

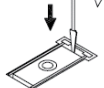
ご注意：この装置を OA デスクなどに取り付け
たまふざらないでください。
塗装面によっては傷がつくおそれ
あります。

●マグネットの取り外し方

⊖ドライバー

①差し込む

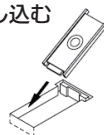
②たおす



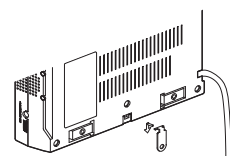
●マグネットの取り付け方

①差し込む

②押し込む



3.2 壁面への設置



正面から見たとき
取付金具の線が
見えるまで下に
引っ張ってください

本体背面の取り付け穴に付属の取付金具を
引っ掛けて下に引き、取付金具を本体に
固定してください。
(このとき取付金具の横線と本体の縁が揃う
ようにします。)

次に付属の座金付木ねじを水平に 70mm
間隔で固定し、本体を引っ掛けて、
取付金具と壁面を付属の木ねじで固定して
ください。
ねじ位置は左図のようになります。

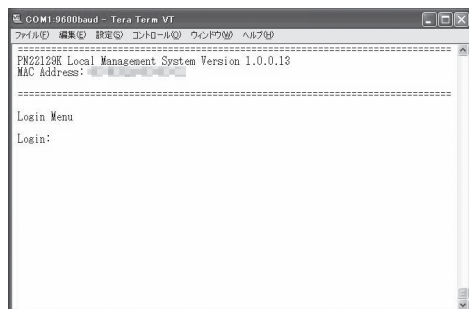
EIA19 インチ規格ラックの天板の上に
置いてください。

ご注意：上下に重ねて置かないでください。
また左右に並べておく場合は
すき間を 20mm 以上設けてくだ
さい。

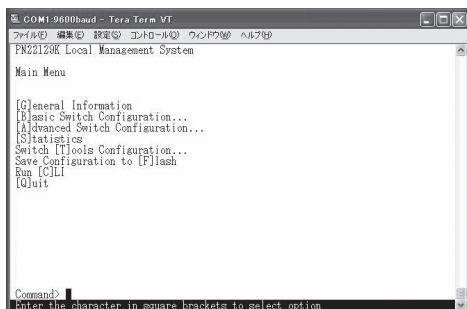
3.3 IP アドレスの設定（簡易）

- (1) 別売オプションの RJ45-DSub9 ピンコンソールケーブル（PN72001）で、この装置と PC を接続し、ターミナルエミュレータ（ZEMU assist Plus など）を起動します。
- (2) Enter キーを 3 回入力すると、Login 画面が表示されますので、Login 名と Password を入力してください（デフォルトは両方とも manager です）。（画面 1）
- (3) メインメニュー画面が出ます。（画面 2）
[B]asic Switch Configuration を選択するので、
「B」と入力し、次の階層のメニューを表示させます。（画面 3）
- (4) System [I]P Configuration を選択するので、「I」と入力し、IP アドレスの設定画面を表示させます。（画面 4）
- (5) IP Address を設定する時は「I」、Subnet Mask を設定する時は「M」、Default Gateway を設定する時は「G」をそれぞれ入力し、決められたアドレスを入力してください。（画面 4）
- (6) 入力完了後、[Q]uit to previous menu を 2 回選択することにより、メインメニュー画面（画面 2）に戻りますので、ここで Save Configuration to [F]lash（画面 5）を選択し、Save current configuration ?（Y/N）で「Y」を入力することで設定を保存してください。
- (7) ネットワークに接続している端末などから、入力した IP アドレスに PING 試験などを行い、正しく設定が反映されているかどうかご確認ください。

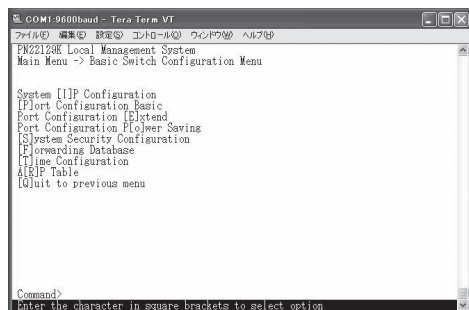
3 設置・設定



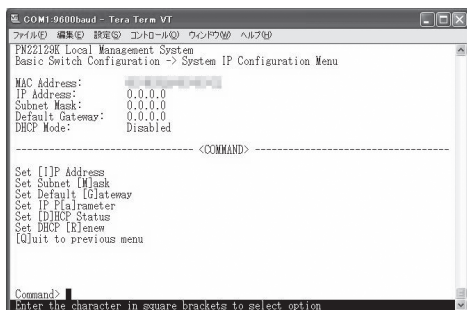
画面 1



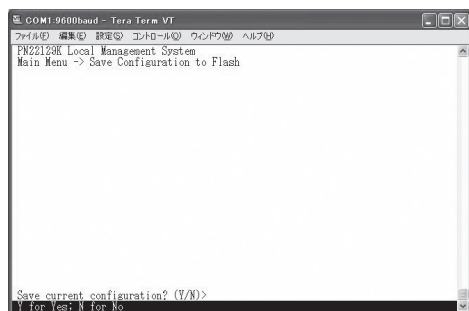
画面 2



画面 3



画面 4



画面 5

*詳しい設定方法・管理方法については、当社 HP より取扱説明書（CLI/WEB/Menu）をご参照ください。

故障かな？と思ったら

故障かなと思った場合には、まず下記の項目に従って確認してください。

◆ LED

電源 LED（POWER）が点灯しない場合

- 電源プラグが外れていませんか？確実に接続されているか確認してください。

ステータスモードでポート LED が点灯しない場合

- ケーブルを該当するポートに正しく接続していますか？
- ケーブル類は適切なものを使用していますか？
- 該当するポートに接続している端末は 10BASE-T、100BASE-TX ですか？
- オート・ネゴシエーションで失敗している場合があります。

この装置のポート設定もしくは端末の設定を半二重に設定してみてください。

ポート LED が橙点灯した場合

- ループが発生しています。ループを解除することにより橙点灯が消えます。

LOOP HISTORY LED が緑点滅した場合

- ループが発生中、またはループ解消後 3 日以内のポートがあることを表します。

◆ 通信が遅い場合

- 装置の通信速度、通信モードが正しく設定されていますか？

通信モードを示す適切な信号が得られない場合は、半二重モードで動作します。

オート・ネゴシエーションの設定を再確認してください。

接続相手機器を強制全二重に設定しないでください。

- この装置を接続しているネットワークの使用率が高すぎませんか？

ネットワークからこの装置を分離してみてください。

◆ 通信ができない場合

- ポート LED が橙点灯していませんか？

ポート LED が橙点灯している場合、そのポートはループ検知・遮断機能によりポートを遮断しています。ポート配下のループ接続を解消後、ループ検知・遮断の自動復旧までのリカバリ時間以上の間待機するか、設定画面からポート遮断を解除してください。

◆ PoE 給電ができない場合

PoE 受電機器に給電しない場合

- STP ケーブルを使用していると、設置環境によっては PoE 給電できない場合があります。その場合は、UTP ケーブルをご使用ください。
- Cat 5 以上のストレートケーブル（8 極 8 芯）を使用していますか？
- PoE 給電機能をサポートするポート 1 ～ 11 に接続していますか？
- ポート単体もしくは装置全体でオーバーロードしていませんか？（P.13 参照）
- 動作環境温度外（高温）にてご使用の場合、保護動作により PoE 給電を停止します。

LED の表示が給電モードのとき、ポート LED が橙点滅している場合

- 該当するポートに接続している PoE 対応機器は IEEE802.3af 規格、または、IEEE802.3at Type 1（15.4W）規格に対応していますか？
- 装置全体で PoE 受電機器が要求する給電電力が 77W を超えていませんか？（静音ファンコントロールの設定を低速にしている場合は 55W）

急に給電が止まった場合

- 通常使用時と待機時で消費電力が異なる PoE 受電機器を使用されている可能性があります。PoE リミット LED をご確認ください。

*設定・管理については、当社 HP より取扱説明書（CLI/WEB/Menu）をご参照ください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

1. 保証書について

保証書は弊社ホームページからダウンロードしていただき、必ず保証書の『お買い上げ日、販売店（会社）名』などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げの日より1年間です。

2. 故障時の対応について

『故障かな？と思ったら』に従って調べていただき、なお異常がある場合は、お買い上げ日と下記の内容をお買い上げの販売店へご連絡ください。

- ◆品名 Switch-S12PWR ◆品番 PN22129K
- ◆製造番号（本体底面に貼付されている11桁の番号）
- ◆ファームウェアバージョン（個装箱に貼付されているラベル上のVer.以下の番号）
- ◆異常の状況をできるだけ具体的にお伝えください。
- 保証期間中は、
保証書の規定に従い製品交換をさせていただきます。
お買い上げの販売店まで製品に保証書を添えてお申し出ください。
- 保証期間が過ぎているときは、
診断結果に応じて、ご要望により有償で製品交換させていただきます。
お買い上げの販売店にご相談ください。

3. アフターサービス・製品に関するお問い合わせ

お買い上げの販売店もしくは下記の連絡先にお問い合わせください。

パナソニックEWネットワークス株式会社

TEL 03-6402-5301

FAX 03-6402-5304

4. ご購入後の技術的なお問い合わせ

■商品をご購入後の技術的なお問い合わせはフリーダイヤルをご利用ください。

IP電話(050番号)からはご利用いただけません。お近くの弊社各営業部にお問い合わせください。

フリーダイヤル



0120-312-712

受付 9:30～12:00 / 13:00～17:00

(土・日・祝日、および弊社休日を除く)

弊社ホームページによくあるご質問(FAQ)および設定例を掲載しておりますのでご活用ください。
ご不明点が解決できない場合は、ホームページのサポート内容をご確認の上、お問い合わせください。

URL:<http://panasonic.co.jp/ew/pewnw/support/index.html>

なお、ご購入前のお問い合わせは、弊社各営業部にお願いいたします。

URL:<http://panasonic.co.jp/ew/pewnw/resume/guideline/index.html>